



令和5年度 FCP 第3回若手フォーラム 参加者アンケート

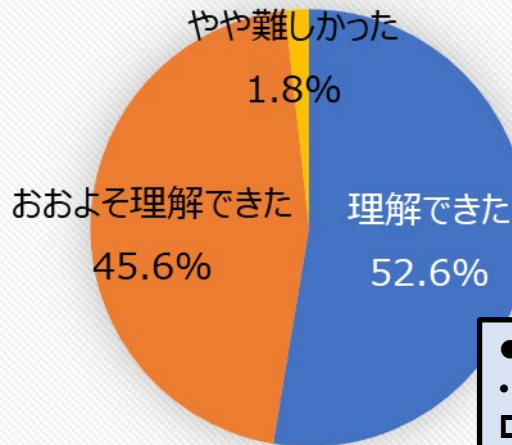
1. アンケート調査について

目的	次回以降及び、翌年度の若手フォーラムの運営や進め方、その他FCP活動の参考とするため、今回若手フォーラムに参加して感じたことや内容・進め方についてアンケート調査を実施
調査対象	令和5年度 第3回若手フォーラム参加者 58名（36社 2省庁）
	有効回答者数 57名（回答率：98.2%）
方法	対面参加者は終了後、手書き回収。Web参加者は同アンケートをメール添付で提出
調査内容	◇講演について（理解度及び意見・感想等） Q1)「食のエシカル消費について考える」 （5段階評価及び自由記入） Q2)「お客様と産地をつなぐサステナブルの取り組み」 （5段階評価及び自由記入） ◇ワークショップについて（進行振り返り感想及び意見） Q3)チーム内ディスカッション「信頼を高めるコミュニケーション」について （5段階評価及び自由記入） ◇全体を通しての感想（満足度及び意見等） Q4)（5段階評価及び自由記入）

2. アンケート結果 (講演)

Q1 食のエシカル消費について考える

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)

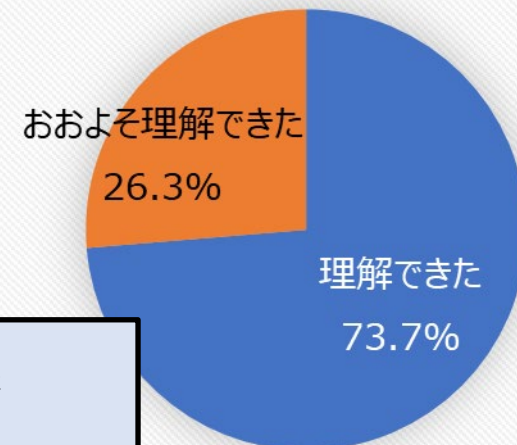


- 新たな気づき
- 職場に持ち帰りたい具体的な取り組み等
- 事前課題へ取り組む意義

- 消費者の「知らされる権利」について、見ようとしなければならぬということが、今の時代に必要であると感じました。
- 自分の食を見直すきっかけになるような講義でした。消費者に伝わっていない部分だと思うので、伝えることができれば、代替肉などのエシカル消費が広まるように思いました。
- 消費者にはエシカル消費について考える「責任」があるという点に共感した。また、「知らされる権利がある」という点は企業としてやっていかなければならないと感じた。
- エシカル消費について「All or Nothing」ではなく、できるところから始める。という言葉が印象に残った。
- 言葉としては初めて聞いたが、環境、社会、背景が様々あり、(事前)課題する上で自分で調べたことをあらためて講演を聞いて、勉強になりました。こういう機会を通じて勉強する時間に意義がありました。

Q2 お客様と産地をつなぐサステナブルな取り組み

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)

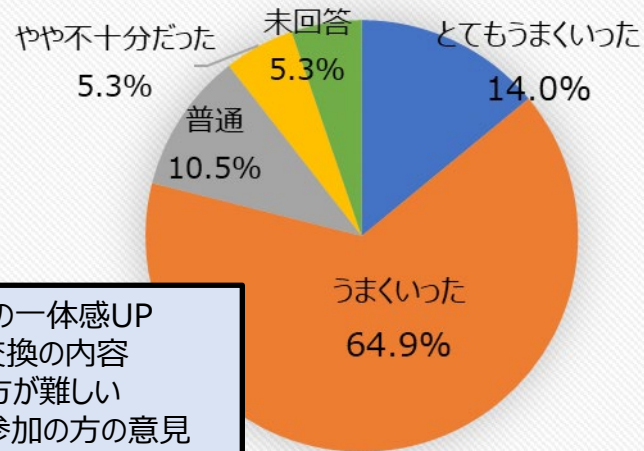


- ロスになる食材を使用して商品を作ることで、フードロス削減になるという取組は、今仕事の中でなかなかできていない部分があるので、そういった声を上げて会社の中で発信していけたらと思います。
- 小・中学生向けのプロジェクトで企画から一緒に考えて開発するというのは新しい発想だと感じました。部内で共有したいと思います。
- 社会課題をビジネスで解決というのがポイントに感じた。
- 規格外品について話をするにあたって、「規格」が不要なのではなく、規格は必要としたうえで、規格外品の活用を考えているということ。サステナブルを押してもなかなか購入につながらないため、「おいしい」「驚き」の2つを大切にしながらアップサイクル商品を開発していること。の2点が興味深かった。
- 「エシカル」を全面に押し出すのではなく、消費者のニーズの中に「エシカル」を組み込むというのは納得感があつた。

2. アンケート結果 (ワークショップ / 全体を通して)

Q3 ワークショップ「信頼を高めるコミュニケーション」

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)

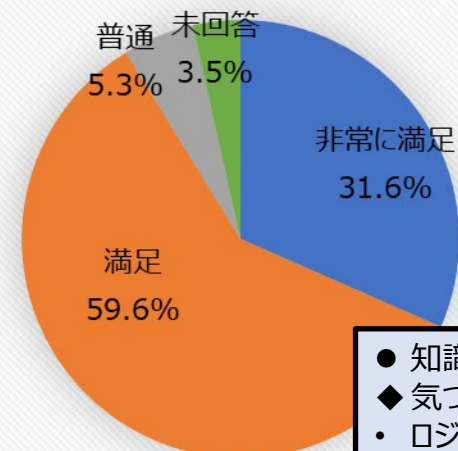


- チームの一体感UP
- ◆ 意見交換の内容
 - ・ まとめ方が難しい
- Web参加の方の意見

- 回数を重ねるにつれ、深い議論ができています。議題に関すること以外にも、近況（業界の）が聞けて面白いです。
- ◆ 事前課題の内容から意見交換するだけでなく、当日の講演内容から「子供のうちからの教育・意識づけ」など、新たな考え方も出すことができ、学習のつながりを感じました。
- ・ ファシリテーション役を担ったが、全員から意見を引き出すことはできたが、時間のマネジメントが上手くできず、きれいにまとめることが出来なかった。
- ・ 正解はないので、自由に進めていましたが、残り10分で、アドバイスをいただいても中々取り入れることが難しかった。フィードバックの時に頂けると、発表の準備が万全にできた。
- ・ 「目標」の部分が、エシカル消費を促すための目標なのか、エシカル消費が普及した上での到達目標なのかグループごとに異なっていたと感じました。
- やはりグループディスカッションは現場にいないとタイミングよく発言できないと思いました。今回は皆の発言を聞いた後に発言する事と、意見が詰まった時に他の皆さんの意見の長所を入れた案を出すことで何とかまとめることが出来たと思います。

Q4 全体を通しての感想

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)



- 知識量UP
- ◆ 気づき、きっかけ等
 - ・ ロジ・運営関係等

- 自分の知識の引き出しが少しずつ増えてきたなと実感しております。
- ◆ 今回の講演は、自分自身の考え方を再度みなおす機会になりました。
- ◆ 生産と消費者の間のコミュニケーションと連携が大切だと感じました。その前提には企業の信頼がないと成り立たないので、継続することが意識も変えていけると感じました。
- ・ いつも時間が足りず、質疑応答の時間がなく、かけ足の印象です。ワークショップについて、140分かけてチーム内で発表に向けて取り組んでいますが、発表に対するフィードバックが少ないのが少し残念に思います。残り2回、フィードバックを濃くして頂けるとありがたいです。
- ・ 複数のファシリテーターの方々からアドバイスはありがたかったが、皆さん意見がそれぞれあり、ちょっと混乱する場面があった。アドバイスするタイミングや内容を配慮いただけると、ディスカッションがスムーズにやりやすくなると思う。
- ・ 前半の講義は次回も講堂ではなく教室？で行うべきだと思う。講堂での机の向きが前を見づらいので、90°回転させてほしい。

2. アンケート結果（ロジ・運営関係のコメント（赤字）抜粋）

<事前課題について>

- ・言葉としては初めて聞いたが、環境、社会、背景が様々あり、（事前）課題する上で自分で調べたことをあらためて講演を聞いて、勉強になりました。こういう機会を通じて勉強する時間に意義がありました。

<全体の運営・ロジ等>

- ・前半の講義は次回も講堂ではなく教室？で行うべきだと思う。講堂での机の向きが前を見づらいので、90°回転させてほしい。
→ 今後、講堂においても、前半はスクール形式（全ての机が前方を向くよう整列）、休憩時に各チームで机を移動させるか。（休憩時の負担が増える、チームごとに一齐に動くので混乱する可能性あり）
- ・急にショックな動画が流れたので注意をして欲しい旨を伝えて欲しかった。
→ アナウンスの必要性（講演の内容による）
- ・いつも時間が足りず、質疑応答の時間がなく、かけ足の印象です。ワークショップについて、140分かけてチーム内で発表に向けて取り組んでいます、発表に対するフィードバックが少ないのが少し残念に思います。残り2回、フィードバックを濃くして頂けるとありがたいです。
→ 事務局側の時間配分を工夫（予め、質疑応答の時間やフィードバックの時間を確保しておく）

<ワークショップの進め方について>

- ・「目標」の部分が、エシカル消費を促すための目標なのか、エシカル消費が普及した上での到達目標なのかグループごとに異なっていたと感じました。
- ・正解はないので、自由に進めていましたが、残り10分で、アドバイスをいただいても中々取り入れることが難しかった。フィードバックの時に頂けると、発表の準備が万全にできた。
- ・複数のファシリテーターの方々からアドバイスはありがたかったが、皆さん意見がそれぞれあり、ちょっと混乱する場面があった。アドバイスするタイミングや内容を配慮いただけると、ディスカッションがスムーズにやりやすくなると思う。
→ アドバイスの内容やタイミング

<Web参加者の発言タイミング>

- ・やはりグループディスカッションは現場にいないとタイミングよく発言できないと思いました。今回は皆の発言を聞いた後に発言する事と、意見が詰まった時に他の皆さんの意見の長所を入れた案を出すことで何とかまとめることが出来たと思います。

3-1. Q1. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「食のエシカル消費について考える」次ページに続く

- エシカル消費という言葉は今まで聞いたことがなかったので、どういう意味なのか、どういう取り組みをしているのか理解することが出来ました。普段からフードロスがなくすには何が出来るのか、考えながら過ごしていきたいと感じました。
- 改めて食の大切さを実感した。
- 資料は後日共有ということでしたが、今回は会場が異なり資料がかなり見えにくかったため、事前に共有していただくか、配布をしてほしかったです。内容については動画でたとえを伝えていただいたので大変分かりやすかったです。
- 肉食と持続可能性について6項目くらいあり、より深く学ぶことができました。動画もあり、視覚的にわかった。
- 自身の業務に大きく関わりのある内容であったと思います。当たり前と思っていた考えを見直す機会になったと思いました。
- いままで考えてこなかった視点でお話をきくことができ、大変勉強になりました。
- エシカル消費について具体例があり、分かりやすかった。
- 講義の初めに「消費者の責任」という言葉がでてきたが、あまりピンと来ていなかった。と殺に関する動画を見て、納得した。
- エシカル消費について「All or Nothing」ではなく、できるところから始める。という言葉が印象に残った。消費者もそうだが、企業（メーカー、小売り）がその取り組みをする方がインパクトは大きいだろうと感じた。
- 具体例や動画も入れていただき、理解が深まることもとても考えさせられました。肉を食べないということではなく、命をいただいているという意識をもって食に関わりたいです。
- アニマルウェルフェアは初見でしたが、映像もありわかりやすかったです。
- エシカル消費についてのリテラシーが社会全体で低いことが気になった。また、特に、アニマルウェルフェアについて、残酷に感じないなど、人によって感じ方が異なる部分は難しいと思った。
- 今回のような講義を受ける機会がもっとあれば良いと思いました。大学で畜産を学んでいたため、考えられました。
- 食肉や卵、牛乳等がどのような背景があり私たちの元に届いているのか、知っているのと知らないのでは消費者の購買意識に大きな差が生じると強く感じた。安さや効率ばかりを求めることが果たして本当に良いことなのか、今一度考えたいと感じた。
- 鶏のオスのひながごろされることを初めて知りました。考えると当たり前のことですが、この目で見ると知らない、気づかないことが多いことを思い知りました。
- 動画が特に印象的でした。とても記憶に残りました。
- エシカル消費という言葉を知るのは社内や社外の講演会くらいだが、本当に注目されているのが疑問だった。エシカル消費を促す消費者教育というお話を伺えて、理解できた。社会課題と消費者のニーズをMixして社会に届ける必要性を感じた。（日本ではまだSDGsの解決≠消費ニーズなのだと思う）
- 肉をまったく食べないという極端な選択をするのではなく、やれることをやっていきましょうという言葉が印象に残りました。食品企業として消費者としてエシカル生産・エシカル消費に取り組みたいです。
- エシカル消費について、動物の命の尊厳の配慮という所を全く考えていなかった。労働者やその生物の命に対しての意識が大事。
- 食肉メーカーとして、考えなければならない大きな問題の一つであると改めて思いました。ただ、賛否両論の議題であるため、なかなか課題の糸口が見つからないのが現状です。今後、消費者の方が納得できる方法や内容が発見できると良いですが・・・
- はっとさせられるお言葉、動画が多かったです。エシカル生産はもちろんのこと、消費についてどのように訴えるか考えていきたいと思います。

3-1. Q1. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「食のエシカル消費について考える」 続き

- ・ 食肉加工の映像は大変勉強になった。ビーガンの台湾を例にした考え方は参考になった。
- ・ エシカル消費について、環境や人権の考えしか認知していませんでしたが、動物性食品について改めて考えていきたいと思いました。
- ・ とくにアニマルウェルフェアについて、もっと調べたいと思った。
- ・ ショッキングな映像もありましたが、食に携わっていても知らない事、知ろうとしていなかったことがたくさんあると思いました。
- ・ 自分の食を見直すきっかけになるような講義でした。消費者に伝わっていない部分だと思うので、伝えることができれば、代替肉などのエシカル消費が広まるように思いました。
- ・ “食肉”の問題は今後も常に議論になる課題だと感じた。個人の倫理感や宗教感など企業が介入しにくい部分とも思うので多様性というか柔軟な対応や思考が必要と感じた。
- ・ 何かをやるより何をやらないか（食べすぎないとか）で行動できるんだと思った。
- ・ 個人としてでも、食品工場で働く（提供）立場としてでも、エシカル消費で学んだことを活かし、命の大切さ、無駄なことを減らし、できることが何かを考えて行動に移したいと思います。
- ・ 肉食の課題は知識として知っていたけれど、行動はできていないので、日常生活の選択に少しずつ取り入れていきたい。
- ・ ショッキングな動画もありましたがそれも含めて自分はどう思い行動するか考えていきたい。
- ・ 急にショックな動画が流れたので注意をして欲しい旨を伝えて欲しかった。
- ・ 消費者の「知らされる権利」について、見ようとしなないものを知らなければならないということが、今の時代に必要であると感じました。
- ・ 内容はなかなか心にくるものがありました。自分が食肉●と企業ということもあり、製造時の「肉」の扱い方、考えを変えていかねばと思いました。
- ・ 特に畜産分野に注目してエシカルについて学んだ。森林減少により、異種の動物が交流するようになることで、新たな病原体が生じるという話は興味深かった。
- ・ 色々と考えさせられました。多くの生命の犠牲のもと、自分の命が成り立っていることを改めて理解しました。
- ・ ショッキングな映像を流す際はアナウンスしてください。
- ・ 実態をリアルに感じる事が出来た。
- ・ 自分の食も考え直させられるくらい、知らないことが多く、興味の幅が広がりました。
- ・ 細川先生の講演がインパクト大だった。（動画も多くておもしろい。）エシカル消費の促進には消費者側、事業者側ともにとりくまなければならない。アニマルウェルフェアの知識が少なく、とりくむ重要性も認識していなかったが、まずは消費者の立場で関わってきたい。
- ・ エシカル消費についてぼんやりとしたイメージしかもっていなかった為、講演を通して少し明確になった気がします。また、企業にとってのエシカル行動は利益につながりにくい、その行動自体が重要なんだなと思いました。
- ・ エシカルについてふわっとしかわかっておらず、今回の事例を元に話を伺えてとてもわかりやすかったです。
- ・ 動画があり、非常にわかりやすかった。
- ・ 学問としてのエシカルと企業活動への落とし込みの実例が見れてよかった。
- ・ レイヤーに関する動画が衝撃でした。
- ・ 畜産という最もエシカルとは真逆の現実的な生産現場を見て、エシカル消費について自分事のように考えられた。

3-1. Q1. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「食のエシカル消費について考える」 続き

- 動画が斬新だった。
- なんとなく知っていたけれど、改めて考えるきっかけになりました。
- 事業者の工業化への問題提起と共に消費者教育も非常に重要であると分かりました。
- 自身を含め、畜産業の裏側や中身を知らない、理解しようとしていないことに気づかされました。
- 個人的には気にしませんが、参加者のバックボーンに配慮した発言であるべきと感じるシーンが多かった。
- エシカル消費についてあまり知らなかったのが、実態を知れて良かった。
- エシカル消費のメリットをもっと聞きたいです。
- 言葉としては初めて聞いたが、環境、社会、背景が様々あり、（事前）課題する上で自分で調べたことをあらためて講演を聞いて、勉強になりました。こういう機会を通じて勉強する時間に意義がありました。
- 消費者にはエシカル消費について考える「責任」があるという点に共感した。また、「知られる権利がある」という点は企業としてやっていかなければならないと感じた。台湾でヴィーガンが流行っている理由に納得した。

3-2. Q2. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「お客様と産地をつなぐサステナブルの取り組み」 次ページに続く

- ロスになる食材を使用して商品を作ることで、フードロス削減になるという取組は、今仕事の中でなかなかできていない部分があるので、そういった声を上げて会社の中で発信していけたらと思います。
 - 効率よくサステナブル対応を進めていく必要があると感じた。
 - 自分の組織と共通の取り組みも多かったため、内容が分かりやすかったです。その中でも小・中学生向けのプロジェクトで企画から一緒に考えて開発するというのは新しい発想だと感じました。部内で共有したいと思います。
 - 自社でもアップサイクルできる商品があるか考えたいです。
 - Oisix様の取り組みには大きく感銘を受けました。「課題をビジネス」にいう考えは私もいつも考えることだったので、実現する姿を見れて勉強になりました。
 - サステナブルだから買うのではなく、おいしいから、便利だから買う、結果的にサステナブルな商品を買っているという考えがとてもいいなと感じました。
 - 小学校や中学校との取り組みが非常によいと思った。ビジネスであることは大事だと思った。
 - "通常では廃棄されてしまう原料を再利用するのは、良い仕事と思った。冷凍ブロッコリーは自分もよく食べるが、芯が廃棄されていることは知らなかった。コーヒーを使ったあられは、どれくらいの割合で練りこんでいるのか気になった。"
 - "社会課題をビジネスで解決というのがポイントに感じた。ハイキ箇所を使ってあらたな価値（例：ブロッコリーのくきのポテト）を生む取り組みは、メーカーにもできるサステナブルで良いと思った。"
 - 小売企業として とても参考になる取り組みでした。自社でもフードロス対策に取り組みながらも まだまだ足りないので、できることを考えたい。
 - アップサイクルについて自社でも取り扱いがあったのに知らなかったです。
 - エシカル消費 + α でビジネスモデルとして確立できればダメ、という部分に共感した
-
- 背景を知った上で利用したいと思いました。
 - 消費者側の意識として、商品が作られた背景やストーリーを知ることが商品選択の理由の一つになってきている世の中では、農家さんの現状（規格外は捨てられてしまう、自然災害で売り物にならない）をアピールすることで、消費者の情緒的部分に訴えかける良いビジネスだと感じた。
 - 小学生や中学生をまきこんだ食ロス授業はとてもよい例だと思いました。SDGsの教育が当たり前のようになっていく子供たちには特に力を入れて教育すべきというお話には納得しました。
 - 具体例があり、どんなものを行っているか、取り組み事例がわかって、理解しやすかったです。
 - 一番SDGsに感度が高いのは今の子供たちという言葉が印象的だった。
 - ニーズに合わせたサステナブルな取り組みをたくさん紹介していただき、大変勉強になりました。私もフードロス削減につながる消費を心がけたいと思います。
 - エシカルという所が新しいビジネスチャンスになる事が分かった。
 - おいしいのは当然であり、新しさの上でたまたまサステナブルがくっついてくるというのは、非常に重要な考え方だと思います。サステナブルを全面に出すことにそこまで今はメリットを感じることはなかったので、非常に同意できました。また、サステナブルを広げていくためには子供の教育と言っていましたが、まさにそうであると共感しました。
 - Oisix様の社内だけではなく、社外、小中学校を含めた取り組みが非常に参考になると感じました。

3-2. Q2. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「お客様と産地をつなぐサステナブルの取り組み」 続き

- ・ アップサイクルの可能性について、我が社でも何か取り組めないか、考えるきっかけとなった。
- ・ 「おいしい：を実現しながら、無理なくアップサイクルを進められており、こういった企業が増えていくべきと思いました。
- ・ オイシックスは利用したことがあるので、取り組みが興味深かった。コーヒーかすをあられにするというのが意外で食べてみたい。
- ・ 農家から流通販売まで行っているからこそその取り組みがたくさんあるのだと思いました。またその取り組みを積極的に行う姿勢がすばらしいと感じました。
- ・ 面白い取り組みをされていると思いました。企業側がおいしいもの、おもしろいものとして消費者に商品を届けることでサステナブルな取り組みにつながる流れが素敵で広まってほしいし自分もたずさわりたいと思いました。
- ・ 児童や学生たちとエシカル（フードロス）を考える機会はとても貴重で良いものだった。
- ・ メーカーが共働して新しい価値を生み出すのは良いと思った。
- ・ 食材を無駄なく、別の形（発想）でサステナブルに活かされている取り組みが驚きでした。品質、異物面では大変に感じましたが、ご参考にさせていただきます。ブロッコリー茎のチップス食べてみたいです！！
- ・ 自分も積極的に買ってみようと思った。
- ・ サステナブルを先にもってくるのではなく、いかに消費者に関心をもってもらうかを考えられていて、企業としては今後そのようにしなければいけないと思った。
- ・ 「サステナブル」であることのみでは消費者として価値が低く見えてしまうため、「結果的にサステナブル」という考えがよいと感じ、その発想を社に持ち帰りたい。
- ・ エシカル消費を広める・理解してもらうにあたって様々な企業努力があることが理解できました。
- ・ Oisixの良さや学校を通じたエシカル消費の周知が有効であると感じました。
- ・ 「エシカル消費」を考えるにあたり、消費者側にもメリットなければなかなかこの考えが広がらないと思っていたので、その先まで考えられている活動がとてもすごいと思いました。
- ・ 規格外品について話をするにあたって、「規格」が不要なのではなく、規格は必要としたうえで、規格外品の活用を考えているということ。サステナブルを押してもなかなか購入につながらないため、「おいしい」「驚き」の2つを大切にしながらアップサイクル商品を開発していること。の2点が興味深かった。
- ・ エシカル消費を見事なまでに付加価値化している点、とても参考になりました。
- ・ わかりやすかった。付加価値をつける意味がみえた。
- ・ 食育は大事と感じた。子供たちの接し方など、持続的に意識する生活が大事と感じた。
- ・ 取組をビジネスとして成立させることが難しそうに感じた。企業イメージUP以外に、経済メリットを生みたい。
- ・ 事業者としては提供する商品すべてがエシカルなものであり、消費者が「エシカルなもの」を選ばなくても自動的にエシカルなものを手に入れることができる状況が望ましいと考えるが、オイシックスはまさにこれを体現している企業だと感じた。
- ・ 実際に当社ではオイシックスさんと商品をつくっているため、より背景を考えることができました。
- ・ 企業としてのとくみがきけて理解がよりふかまりました。
- ・ アップサイクルに力を入れていることは知っていたが、食育の実施は良い活動であると思った。
- ・ 学問としてのエシカルと企業活動への落とし込みの実例が見れてよかった。
- ・ 学生との長期にわたる取り組み（フードロスに関して）を知れて良かった。

3-2. Q2. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「お客様と産地をつなぐサステナブルの取り組み」 続き

- 実際の企業の取り組みをみることができた。生産者の気持ちをくむというのが特に印象的でした。
- Oisix社の取組は参考すべき部分が多かったです。一方で、エシカルが先頭にありすぎるとコストパフォーマンスが良くないと感じました。
- ビジネスとして行うことでより効率的に、かつ実現しやすいと思うので素晴らしい取組だと思います。
- おいしさや新しい発見を提供するのを第一に、あとからSDGsの貢献がついてくるという考え方が参考になりました。
- 小学生・中学生のサステナブルに関する授業風景を拝見し、自分の育った環境教育とまったく異なり、今後の世代との「食」に関する考え方は大きく変わっていくと感じました。そしてそれをしっかりインプットする必要があると感じました。
- ビジネスを元と言う考えは非常に共感できる。中心になる理念がしっかりしていないと新しい発想も生まれない。
- 小・中学校での取り組みは非常にいいなと思いました、
- とてもわかりやすかったです。規格外の商品再加工する場合、コスト（が）かかるのではないかと疑問に思いました。
- 企業の良い取り組み（食材ロス減らすメニュー）や学校での教育は自社でも参考になる事であると思いました。
- "・私の業務においても、生産上の廃棄ロスをいかに減らすかというところに重点を置いているので、共感した。・「エシカル」を全面に押し出すのではなく、消費者のニーズの中に「エシカル」を組み込むというのは納得感があった。"

3-3. Q3. ご意見・ご感想（全コメント）

WS：「信頼を高めるコミュニケーション」について 次ページへ続く

- 初めて会場に足を運び、グループディスカッションに参加することができました。今後会場に来る機会があれば、今日以上にコミュニケーションをとって自分の意志を言えたらと思います。
- 現実的に考えると難しかった
- 一点課題としては、「目標」の部分が、エシカル消費を促すための目標なのか、エシカル消費が普及した上での到達目標なのかグループごとに異なっていたと感じました。消費者目線、企業目線それぞれで深くコミュニケーションがとれたのはすごく勉強になりました。
- 正解はないので、自由に進めていましたが、残り10分で、アドバイスをいただいても中々取り入れることが難しかった。フィードバックの時に頂けると、発表の準備が万全にできた。
- 「エシカル消費」というテーマが様々な方面からアプローチできるため、どのようにまとめるか少し迷う所があった。
- 「エシペイ」のマークを考えたかった。
- 活発な議論になったが、若干まとまりきらず、理論も弱いかも。
- まとめることが難しかったです。思いつかなかった意見を聞いて良かったです。
- 今までよりワーク内での会話が活発になったと思います。
- リーダーが音頭をとって進めてくださったので、やりやすかったです。
- ファシリテーション役を担ったが、全員から意見を引き出すことはできだが、時間のマネジメントが上手くできず、きれいにまとめることが出来なかった
- 様々な意見を話し合うことができ、自分の考えが深まりました。
- 今回場が言いたい事をまとめて言える場であり、良かった。
- 内容はかなり難しかったように思いましたが、なんとかまとめることができました。エシペイはなかなか良いアイデアであると思います。
- 各班の考え方、とても参考になりました。継続性が大事、弊社でも一過性の取り組みにならないよう、取り組みたいと思います
- それぞれの意見の抽出、議論が不完全だったのが反省。だが、自分の企業で何ができるかを考えるきっかけになったのが大きかった。
- 事前課題の内容から意見交換するだけでなく、当日の講演内容から「子供のうちからの教育・意識づけ」など、新たな考え方も出すことができ、学習のつながりを感じました。
- 回数を重ねるにつれ、深い議論ができています。議題に関すること以外にも、近況（業界の）が聞けて面白いです。
- 前回よりもディスカッションができたように思います。また、内容もうまくまとめられたように思います。回を重ねていく中でよりよくなっていくといいと思いました。
- 企業同士が手をとりあってエシカルをしんとうさせていくといった意見や、教育として子どもたちに知ってもらい未来につなげていくといった持続的な活動の意見としてまとめられてよかったです。
- リーダーを中心にスムーズに意見交換できたと思う。企業側としての意見がある一方で、消費者としての意見（気持ち）があるので一概にこうするべき、とすることはとても難しいと感じた。
- "・エシカル消費を促すためには、企業、消費者双方にメリットがないと継続しない＝意味がないことが分かった。・背景に共感が得にくいので、価値、おいしさ等、消費者にメリットがないと選ばれない。・消費者の教育も必要。"
- まとめが難しかったが、チーム内で意見を出し協力し課題について議論できてよかった

3-3. Q3. ご意見・ご感想（全コメント）

WS：「信頼を高めるコミュニケーション」について 続き

- ・ワークショップで出た意見をまとめるのが難しかった。企業だけでは、できないようなプロジェクトは行政が参入してくださると信頼度が上がり、効果的だったと思った。
- ・まとめまで時間が足りずもう少し全体を意識してやっていきたい。
- ・今回出た発表内容が似た部分のある結論であり、自分として別視点を出したかったと考えています。
- ・エシカル消費の生まれた背景・企業側・個人でできることについて議論することができてよかった。
- ・リーダーとしての場の誘導や結論を考えるまでの時間配分が行えていませんでした。
- ・とても難しい課題の中、協力して意見をまとめあげられたと思います。
- ・「エシカル消費」が知られていないということに驚いた。農水省の取り組みも知ってもらえているものとそうでないものの差があり、いろいろ考えさせられました。広報・周知は難しいです。
- ・結論をどうもっていくのか、とても苦慮しましたが、その分コミュニケーションを活発にとれ、良かったと思いました。
- ・結局、賃金と理想のギャップが大きすぎて何をあげてもうまいかないと思う。アプリなども結局ゆちゃくになる。
- ・前段の情報整理に関しては、テーマが広く、難しかった。エシカルのハードルが高いことをいかに一般とするか、考える機会になりました。
- ・もう少しおもしろいアイデアを出せるように頑張りたいです、
- ・今日のテーマ「エシカル消費」は事業者の立場だけでなく、自身も消費者の立場からも考えることができてよかった。
- ・やはりグループディスカッションは現場にいないとタイミングよく発言できないと思いました。今回は皆の発言を聞いた後に発言する事と、意見が詰まった時に他の皆さんの意見の長所を入れた案を出すことで何とかまとめれることが出来たと思います。
- ・ざっくばらんに意見がきけてよかったです。
- ・エシカルに関わる実体験がある人は意識が高い。
- ・難易度の高いテーマでした。非常に勉強になりました。欠席者の方の意見も聞きたかった。
- ・全員でいろいろな意見をだせ、全員でまとめることができた。
- ・社会的課題が多い中で、各人がメリットが無いと動くことができないので難しい問題であると感じた。
- ・リーダーのファシリテートがスムーズで、話題が途切れず十分な意見交換ができた。
- ・前回よりも更に活発にディスカッションができた。
- ・回数をかさねるごとにチーム感が上がっていると思います。また、他社の取りくみや悩みを共有できている事は良いと思います。
- ・エシカル消費を進めるには、それをつくるのにコストがかかる。また、買えば、買うほど逆にエシカルじゃなくなる。・食育や教育とは継続的な目的が必要であると感じた。

3-4. Q4. ご意見・ご感想 (全コメント) 全体を通しての感想 次ページへ続く

- ・ 生産と消費者の間のコミュニケーションと連携が大切だと感じました。その前提には企業の信頼がないと成り立たないので、継続することが意識も変えていけると感じました。今日は直接会場にこれたのでとても有意義な時間になりました。
- ・ 日本女子大学の細川様によるワークショップの振り返りがすごく勉強になる内容でした。ただフードロスをなくすためでは良くない、食べ放題に関する話題など気づきが多かったです。
- ・ いつも時間が足りず、質疑応答の時間がなく、かけ足の印象です。ワークショップについて、140分かけてチーム内で発表に向けて取り組んでいますが、発表に対するフィードバックが少ないのが少し残念に思います。残り2回、フィードバックを濃くして頂けるとありがたいです。
- ・ 講演が非常に良かったです。
- ・ 複数のファシリテーターの方々からアドバイスはありがたかったが、皆さん意見がそれぞれあり、ちょっと混乱する場面があった。アドバイスするタイミングや内容を配慮いただくと、ディスカッションがスムーズにやりやすくなると思う。
- ・ 食品企業としてできるエシカル消費、個人としてできるエシカル消費について引き続き考えて実践したいです。
- ・ 前半の講義は次回も講堂ではなく教室？で行うべきだと思う。講堂での机の向きが前を見づらいので、90°回転させてほしい。
- ・ エシカル消費”を把握していなかったため、学べて良かったです。
- ・ 講義の部屋の冷房が効きすぎていて寒かったです。
- ・ 普段話することがなかなかないので、大変参考になりました。
- ・ エシカル消費とその課題に関してチームメンバーと議論し、理解を深めることができた。答えが出せてない社会課題に対して若手でディスカッションすると思いがけないアイデアが出てきて新たな発見があった。
- ・ 内容も非常に興味深く、とてもためになりました。ありがとうございました。
- ・ 毎回良い意見交換ができていると思います。
- ・ エシカル消費について、具体例をふまえた取り組みを知ることで、考え方を深めることができました。
- ・ 他チームの発表面白いです。具体的な取り組みやプロジェクト発表など毎回楽しいです。
- ・ 本日もありがとうございました。
- ・ 講義用の部屋で前半話が聞けたので講義が受けやすかったです。
- ・ エシカル消費についてとても勉強になり、消費者、企業の立場から、今後継続してすべき課題を考える機会となり、大変貴重な時間でした。有難うございました。
- ・ 学生の頃からエシカルやフェアトレードに興味があり、知識があったが、世間一般的にはあまり知られていないことを知った。
- ・ エシカル消費については、消費者に理解してもらうことから始まると感じました。
- ・ 機会点が多くあると分かりました。
- ・ 今回の講演は、自分自身の考え方を再度みなおす機会になりました。ありがとうございました。
- ・ エシカル消費について理解できた
- ・ エシカルに対して考える時間は貴重でした。出来ることをやっていきたいと思います。
- ・ 講義は今回のように前を向いて受ける方が集中できました。

3-4. Q4. ご意見・ご感想（全コメント） 全体を通しての感想 続き

- 事務局の方の対応をいつもしてくださり感謝しております。仕事上どうしてもリモート参加になってしまいますが、自分の知識の引き出しが少しずつ増えてきたなと実感しております。今後もよろしくお願いします。
- エコポイントの講評が考えさせられた
- 動画の内容は持ち意見により見方が大きく変わると感じます。